

VII. 基本的動作の調査（調査6）

体力向上の基礎を培うための幼児期における実践活動の在り方に関する調査研究

基本的動作の調査 調査実施要領

1 実施方法

教員・保育士等が、対象とした幼児一人一人の「走る動作（25mの疾走）」、「跳ぶ動作（立ち幅跳び）」、「投げる動作（テニスボールの遠投）」、「捕る動作（ゴムボールの捕球）」、「つく動作（ゴムボールのまりつき）」、「転がる動作（マット上での前転）」、「平均台を移動する動作（平均台上の歩行・走行）」を、側方よりデジタルビデオカメラを用いて撮影する。

各動作の具体的な撮影方法に関しては、145～151 ページに示した。

2 実施手順

①7種類の基本的動作について、撮影方法に基づいてデジタルビデオカメラに記録する。

②収録した映像を、文部科学省に提出する。

③文部科学省において、設定された5つの動作パターンを基準として、一人一人の基本的動作を分類、評価する。

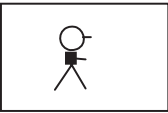
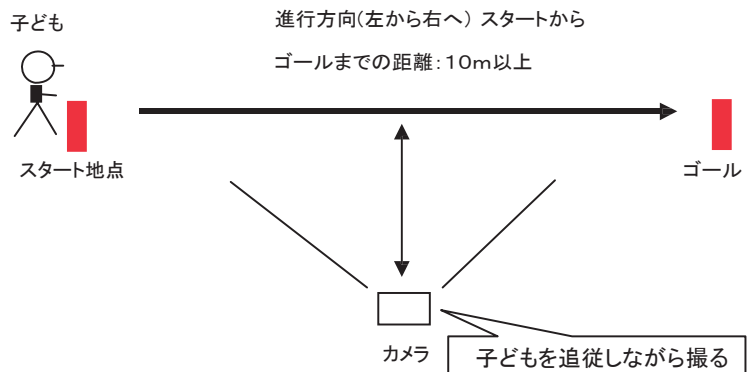
④対象児一人一人について、7種類の基本的動作の連続写真を作成し、評価結果をもとに、「基本的動作の調査」結果シートを作成し、幼稚園、保育所及び保護者に還元する。

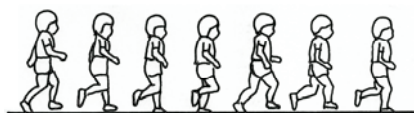




3 評価方法

7種類の基本的動作において、それぞれ設定された5つの動作パターンを基準とし、収録した対象児の基本的動作の動作フォームをモニター画面上で観察し、動作カテゴリーのチェックをもとに、対象児の7種類の基本的動作の動作様式を分類、評価する。

各動作の具体的な動作発達段階の特徴と、それらの典型的な動作パターンの動作フォームに関しては、145～151 ページに示した。

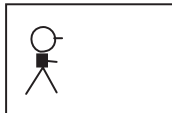
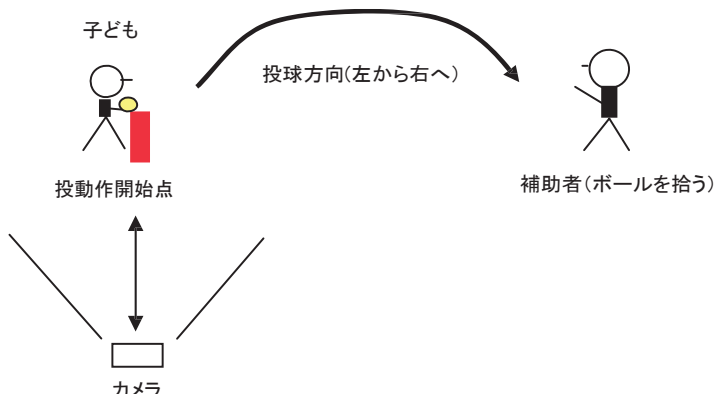
動作フォームの観察的評価は、熟練した観察者が行い、分類、評価した7種類の基本的動作ごとに、パターン1からパターン5までの動作様式にそれぞれ1点から5点の動作得点を与えて数量化する。更に7種類の基本的動作の動作得点の合計点（35点満点）を「合計得点」として、幼児期の基本的動作の発達を全体的にとらえる指標とする。

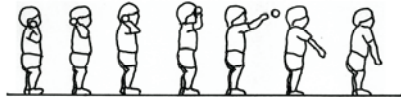




項目	動作の撮影方法
<p>内容 図解</p> <p>説明</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 10px 0;">  </div> <p>子どもに対する説明指示すること</p> <p>留意点(ビデオカメラ)</p> <p>留意点(指示)</p> <p>コミュニケーションのポイント</p> <p>使用備品</p>	<p>基本動作テスト項目「走る動作」</p> <p>(1)スタート地点と、ゴール地点にビニールテープを張り、カメラを子どもの側方に設置する (2)カメラ位置は、スタート地点からゴール地点との中間 (3)子どもの動きを追従しながら撮る</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(1)まず、スタート地点に立つ (2)プレーリーダーが、「よーい、どん！」と言ったら、ゴールに向かって走るよう指示する (3)2回走る</p> <p>①撮影距離(画角と人物の割合) ②明るさ ③シャッタースピードは500分の1に設定する(もしくはスポーツモード) ④動作開始点の一定化 ⑤録画モードはSP ⑥ゴール地点には、子どもが目印となるものを置く走りやすい ⑦保護者から離れられない子どもがいる場合は、保護者の方にゴール地点にいてもらう ⑧名前を確認すること</p> <p>ビデオカメラ(DVテープ用/DVD用) 三脚 DVテープ/DVDディスク メジャー ビニールテープ</p>


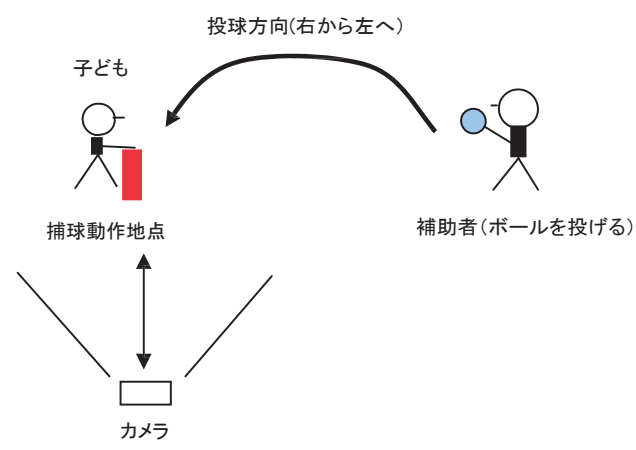
「走る動作」の動作発達段階の特徴	動作パターン	得点(点)
パターン1: 両腕のスウィングが見られない		1
パターン2: 前方で腕をかくような動きや、左右の腕のバランスがとれていないスウィングである		2
パターン3: 十分な足の蹴り上げがある		3
パターン4: 大きな振動での両腕のスウィング動作がある		4
パターン5: 膝が十分に伸展し、水平方向にキックされる		5

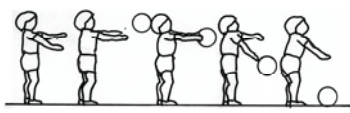
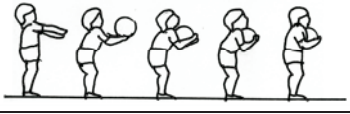



項目	動作の撮影方法
<p>内容 図解</p> <p>説明</p> <p>子どもに対する説明</p> <p>留意点(ビデオカメラ)</p> <p>留意点(指示)</p> <p>コミュニケーションのポイント</p> <p>使用備品</p>	<p>基本動作テスト項目「跳ぶ動作」</p> <p>(1) マットをひく (2) 踏み切り地点にビニールテープを張る (3) カメラは、子どもの側方に設置し、踏み切りから着地までの一連の動作がすべて入る位置に固定する</p> <div style="text-align: center;"> <p>子ども</p> <p>跳躍方向(左から右へ)</p> <p>踏み切り地点</p> <p>マット</p> <p>カメラ</p> </div> <p>○ ○ ○ 順番待ちの子ども</p> <p>①撮影距離(画角と人物の割合) ②明るさ ③シャッタースピードは500分の1に設定する(もしくはスポーツモード) ④動作開始点の一定化 ⑤録画モードはSP ⑥順番待ちの子どもが、画角に入らないようにする ⑦名前を確認すること</p> <p>ビデオカメラ(DVテープ用/DVD用) 三脚 DVテープ/DVDディスク メジャー ビニールテープ マット</p>


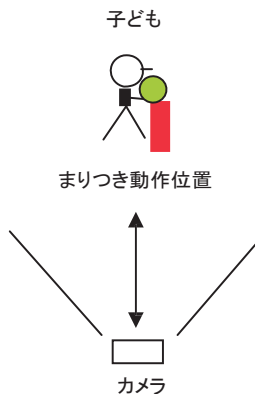
「跳ぶ動作」の動作発達段階の特徴	動作パターン	得点(点)
<p>パターン1: 両腕がほとんど動かないか、跳躍方向と反対の後方にふる</p>		1
<p>パターン2: 両腕を側方へ引き上げ、肩を緊張させてすくめる</p>		2
<p>パターン3: 肘が屈曲する程度に、両腕をわずかに前方へ振り出す</p>		3
<p>パターン4: 肘をほぼ伸展しながら、両腕を前方に振り出す</p>		4
<p>パターン5: バックスウィングから両腕を前上方へ大きく振り出す</p>		5





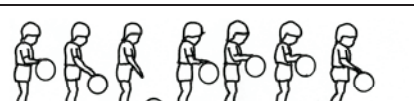
項目	動作の撮影方法
<p>内容 図解</p> <p>説明</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 10px 0;">  </div> <p>子どもに対する説明</p> <p>留意点(ビデオカメラ)</p> <p>留意点(指示)</p> <p>コミュニケーションのポイント</p> <p>使用備品</p>	<p>基本動作テスト項目「投げる動作」</p> <p>(1) 投動作開始地点にビニールテープを張る (2) カメラは、子どもの側方に設置し、投球動作がすべて入る位置に固定する</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>① 撮影距離(画角と人物の割合) ② 明るさ ③ シャッタースピードは500分の1に設定する(もしくはスポーツモード) ④ 動作開始地点の一定化 ⑤ 録画モードはSP ⑥ 利き腕で投げるよう指示する ⑦ 野球の投球動作のように、上から投げるよう指示する ⑧ 名前を確認すること</p> <p>ビデオカメラ(DVテープ用/DVD用) 三脚 DVテープ/DVDディスク メジャー ビニールテープ テニスボール(なければ、同サイズのボール)</p>

「投げる動作」の動作発達段階の特徴	動作パターン	得点 (点)
<p>パターン1: 上体は投射方向へ正体したままで、支持面の変化や体重の移動は見られない</p>		1
<p>パターン2: 両足は動かず、支持面の変化はないが、反対側へひねる動作によって投げる</p>		2
<p>パターン3: 投射する腕と同じ側の足の前方へのステップの導入によって、支持面が変化する</p>		3
<p>パターン4: 投射する腕と逆側の足のステップがともなう</p>		4
<p>パターン5: パターン4の動作様式に加え、ウィンドアップ動作が見られる</p>		5

項目	動作の撮影方法
<p>内容 図解</p> <p>説明</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 10px 0;">  </div> <p>子どもに対する説明</p> <p>留意点(ビデオカメラ)</p> <p>留意点(指示)</p> <p>コミュニケーションのポイント</p> <p>使用備品</p>	<p>基本動作テスト項目「捕る動作」</p> <p>(1) マットをひく (2) 踏み切り地点にビニールテープを張る (3) カメラは、子どもの側方に設置し、捕球動作が画角に収まる位置に固定する</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>①撮影距離(画角と人物の割合) ②明るさ ③シャッタースピードは500分の1に設定する(もしくはスポーツモード) ④動作開始点の一定化 ⑤録画モードはSP ⑥補助者は、子どもがボールを取りやすい位置に投げる(投げる位置は一定させる) ⑦名前を確認すること</p> <p>ビデオカメラ(DVテープ用/DVD用) 三脚 DVテープ/DVDディスク メジャー ビニールテープ やわらかいボール(大きさ:ドッジボールくらい)</p>

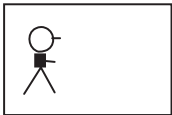
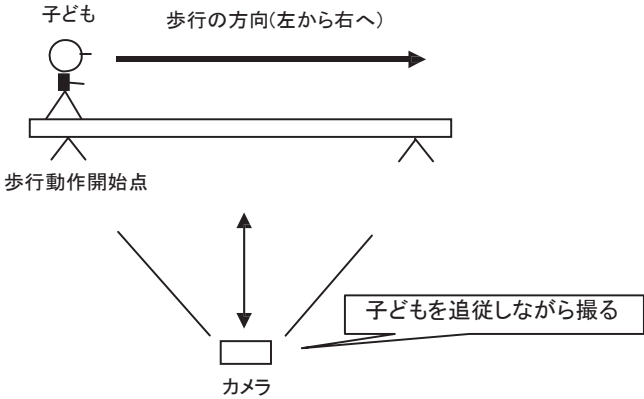
「捕る動作」の動作発達段階の特徴	動作パターン	得点 (点)
パターン1: ボールに反応した腕の動作が見られない		1
パターン2: 両腕と上体を使って、ボールを抱え込む		2
パターン3: 両腕と上体を使って、ボールを挟み込む		3
パターン4: 両手の手のひらのみを使って、小指をそろえるようにしてボールを下手で捕球する		4
パターン5: 両手の手のひらのみを使って、親指をそろえるように上向きの構えからボールを捕球する		5

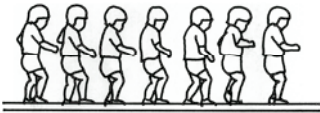
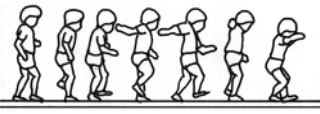
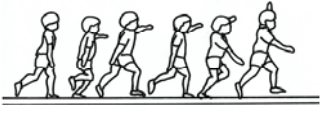
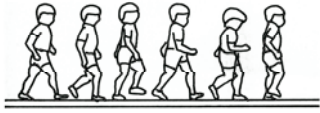

項目	動作の撮影方法
<p>内容 図解</p> <p>説明</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 10px 0;">  </div> <p>子どもに対する説明</p> <p>留意点(ビデオカメラ)</p> <p>留意点(指示) コミュニケーションのポイント</p> <p>使用備品</p>	<p>基本動作テスト項目「つく動作」</p> <p>(1)投動作開始地点にビニールテープを張る (2)カメラは、子どもの側方に設置し、まりつき動作が画角に収まる位置に固定する</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>①撮影距離(画角と人物の割合) ②明るさ ③シャッタースピードは500分の1に設定する(もしくはスポーツモード) ④動作開始点の一定化 ⑤録画モードはSP ⑥名前を確認すること</p> <p>ビデオカメラ(DVテープ用/DVD用) 三脚 DVテープ/DVDディスク メジャー ビニールテープ ドッジボール(なければ、同サイズのボール)</p>

「つく動作」の動作発達段階の特徴	動作パターン	得点 (点)
<p>パターン1: 最初のバウンドでボールをたたきつけるように打ち、連続してボールに触れることができない</p>		1
<p>パターン2: 落下して弾むボールに手を触れるが、連続してボールに力を与えることができない</p>		2
<p>パターン3: 手と指をまっすぐに伸ばして、ボールをたたく</p>		3
<p>パターン4: 手と両腕で力をコントロールして、ボールを押し出すようにしてつく</p>		4
<p>パターン5: ボールのバウンドを手のひらで吸収し、指先でボールをコントロールしながらつく</p>		5

項目	動作の撮影方法
<p>内容 図解</p> <p>説明</p> <p>子どもに対する説明</p> <p>留意点(ビデオカメラ)</p> <p>留意点(指示)</p> <p>コミュニケーションのポイント</p> <p>使用備品</p>	<p>基本動作テスト項目「転がる動作」</p> <p>(1)マットをひく (2)動作開始地点にビニールテープを張る (3)カメラは、子どもの側方に設置し、動作開始点から動作終了までの一連の動作がすべて入る位置に固定する</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>①撮影距離(画角と人物の割合) ②明るさ ③シャッタースピードは500分の1に設定する(もしくはスポーツモード) ④動作開始点の一定化 ⑤録画モードはSP ⑥順番待ちの子どもが、画角に入らないようにする ⑦名前を確認すること</p> <p>ビデオカメラ(DVテープ用/DVD用) 三脚 DVテープ/DVDディスク メジャー ビニールテープ マット</p>

「転がる動作」の動作発達段階の特徴	動作パターン	得点 (点)
パターン1: 頭越えができず、左右軸での回転が現れない		1
パターン2: 左右軸での頭越えの後に、背中を伸ばした仰向けの状態で回転が中断される		2
パターン3: 左右軸での頭越えの後に、背中での回転で状態の長体軸によるひねりを使って回転する		3
パターン4: 動作中終始、左右軸のみでスムーズに回転し、両手で体幹を支持して腰を離床する		4
パターン5: 左右軸のみの「U」を描くようなスムーズな回転で、両腕を滞空させたまま腰を離床する		5

項目	動作の撮影方法
<p>内容 図解</p> <p>説明</p>  <p>子どもに対する説明</p> <p>留意点(ビデオカメラ)</p> <p>留意点(指示) コミュニケーションの ポイント</p> <p>使用備品</p>	<p>基本動作テスト項目「平均台を移動する動作」</p> <p>(1)平均台を設置し、カメラを子どもの側方に設置する (2)カメラ位置は、スタート地点からゴール地点との中間 (3)子どもの動きを追従しながら撮る</p>  <p>①撮影距離(画角と人物の割合) ②明るさ ③シャッタースピードは500分の1に設定する(もしくはスポーツモード) ④動作開始点の一定化 ⑤録画モードはSP ⑥名前を確認すること</p> <p>ビデオカメラ(DVテープ用/DVD用) 三脚 DVテープ/DVDディスク メジャー 平均台</p>

「平均台を移動する動作」の動作発達段階の特徴	動作パターン	得点 (点)
<p>パターン1: 足先を側方または前方に向けたフォローステップによって歩く</p>		1
<p>パターン2: 左右交互のステップ動作によって歩くが、腕のスウィングが脚の動作と同調していない</p>		2
<p>パターン3: 左右交互のステップ動作によって走るが、腕のスウィングが脚の動作と同調していない</p>		3
<p>パターン4: 腕のスウィングを脚の動作と同調させながら、バランスよく歩く</p>		4
<p>パターン5: 腕のスウィングを脚の動作と同調させながら、バランスよく走る</p>		5

◆調査6: 基本的動作の調査の集計結果

(%)

種目	事業参加年	標本数	パターン5 (5点)	パターン4 (4点)	パターン3 (3点)	パターン2 (2点)	パターン1 (1点)	平均点	標準偏差	平均年齢
走る動作	1年目	878	0.0	0.3	9.8	49.2	40.7	1.70	0.65	5.16
	2年目	949	0.0	3.5	29.0	46.2	21.4	2.15	0.79	5.23
	3年目	484	0.4	6.2	41.9	41.9	9.5	2.46	0.77	5.36
跳ぶ動作	1年目	895	0.0	0.4	7.9	44.9	46.7	1.62	0.65	5.18
	2年目	947	0.0	2.2	22.7	48.9	26.2	2.01	0.76	5.23
	3年目	480	0.8	3.3	27.1	52.5	16.3	2.20	0.78	5.37
投げる動作	1年目	908	0.0	1.5	7.7	32.7	58.0	1.53	0.70	5.18
	2年目	948	0.1	3.8	14.1	51.7	30.3	1.92	0.77	5.23
	3年目	440	0.5	5.2	23.9	48.4	22.0	2.14	0.83	5.31
捕る動作	1年目	884	0.0	0.6	6.1	66.7	26.6	1.81	0.56	5.16
	2年目	908	0.0	4.1	17.3	54.2	24.4	2.01	0.76	5.22
	3年目	484	0.2	5.4	28.1	44.0	22.3	2.17	0.84	5.36
つく動作	1年目	892	0.0	0.4	7.3	32.7	59.5	1.49	0.65	5.17
	2年目	947	0.0	0.8	10.2	47.2	41.7	1.70	0.68	5.23
	3年目	483	0.2	1.9	13.5	60.9	23.6	1.94	0.68	5.35
転がる動作	1年目	881	0.0	0.6	4.3	82.3	12.8	1.93	0.43	5.18
	2年目	942	0.2	1.8	12.1	78.6	7.3	2.09	0.53	5.22
	3年目	415	0.2	4.8	24.6	64.6	5.8	2.29	0.66	5.25
平均台を移動する動作	1年目	889	0.0	0.2	5.5	79.2	15.1	1.91	0.45	5.17
	2年目	947	0.0	1.0	11.5	77.4	10.1	2.03	0.50	5.22
	3年目	483	0.0	1.9	20.1	73.3	4.8	2.19	0.54	5.36

	事業参加年	標本数	平均点	標準偏差	平均年齢
合計得点	1年目	820	11.95	2.47	5.16
	2年目	868	13.96	3.13	5.23
	3年目	390	15.29	3.32	5.26